

2014年度輔仁大学日本語文学科国際シンポジウム  
『新旧の出会いとところ ―日本語文法の理論と実践―』

主催： 輔仁大学日本語文学科  
協賛： 外交部亜東関係協会、教育部、日本交流協会、輔仁大学外国語学部  
日程： 2014年11月15日（土）  
会場： 輔仁大学聖言楼百鍊庁

8:30-9:00	受付
9:00-9:40	開幕式： 亜東関係協会会長 李嘉進 日本交流協会文化室主任 塩澤雅代 輔仁大学外国語学部副部長 黄翠娥
第一セッション 基調講演 9:40-10:30	司会：小針浩樹（輔仁大学） 堀江薫（名古屋大学） 言語類型論・認知言語学の観点から見た日本語の複文現象および複文研究の動向 ―他言語との対照を通じて―
10:30-10:40	休憩
第二セッション 論文発表 10:40-11:40	司会：吉田妙子（政治大学） 落合由治（淡江大学） 日本語における品詞論の再構築 ―歴史的発展と課題への一考察― 蔡明興（台北大学） ロシア語学から日本語学へ ―ヴィノグラードフ（В. В. Виноградов）の慣用句論と奥田靖雄の連語論を中心として―
第三セッション 論文発表 11:40-12:40	司会：林慧君（台湾大学） 大木一夫（東北大学） 一回的文成立論と多段階的文成立論 邱明麗（輔仁大学） 〈格助詞〉と〈後置詞〉の区別 ―分類基準と機能から見て―
12:40-13:20	昼食・ポスター発表
第四セッション 基調講演 13:20-14:00	司会：黄淑燕（東海大学） 蔡京希（培花女子大学校） 韓国の日本語教育における文法研究動向

<p>第五セッション 論文発表 14:00-15:00</p>	<p>司会：陳淑娟（東吳大学） 羅曉勤（銘伝大学） 「わかる」と「できる」の統一を目指した日本語会話授業の 試み 馮寶珠（輔仁大学） 日本語適応型テストシステムの開発 —新日本語能力試験 2 級の文法を中心に—</p>
<p>15:00-15:20</p>	<p>ティータイム・ポスター発表</p>
<p>第六セッション 論文発表 15:20-16:50</p>	<p>司会：王玉玲（開南大学） 神作晋一（南台科技大学） 丁寧体否定形式「～ません」と「～ないです」の動向 小針浩樹（輔仁大学） 伝達構造と日本語の否定形式との関係 陳志文（高雄大学） 「比較的＋用言」と「比較的に＋用言」についての考察 —『現代日本語書き言葉均衡コーパス』における使用実態—</p>
<p>第七セッション 論文発表 16:50-17:50</p>	<p>司会：陳明姿（台湾大学） 荒井智子（銘伝大学） 自己調整学習という概念を取り入れた日本語教育の試み 楊錦昌（輔仁大学） 古典語由来の日本語連体詞の一考察 —「創発」概念からの試み—</p>
<p>17:50-18:00</p>	<p>閉幕式 : 輔仁大学日本語文学科主任 黄瓊慧</p>